

授業科目 公的扶助論Ⅱ

社会福祉学科
専門

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	社会
星野恵美子	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【<概要>又は<一般目標：G I O>】
 日本における公的扶助制度について体系的に把握し、全体像について理解する。
 生活保護制度の理論と実際についての知識を元に、近年における生活保護の動向について理解を深める。
 また、生活保護制度以外の低所得者対策について学ぶことによって多様な課題について理解を深める。
 福祉・保険・医療援助者の知識としてとして必要な生活保護の相談援助活動について位置づけやプロセスを考える。

【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】
 ①近年における生活保護の動向について理解する。
 ②生活保護以外の低所得者対策の概要について学ぶ。
 ③生活保護の相談援助活動の実際について学ぶ
 ④相談援助活動における関係機関連携と世帯類型別の援助計画について理解する。

回数	授業計画又は学習の主題		SBO	
			番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	生活保護の動向	被保護人員数及び被保護世帯数の動向を知る。	1	講義
2	"	保護の開始、廃止の理由について学ぶ。	1	
3	"	医療扶助、介護扶助の動向を知る。	1	
4	低所得者対策の概要	生活保護以外の低所得者対策の概要について学ぶ。	2	
5	"	生活福祉資金貸付精度について学ぶ	2	
6	"	公営住宅の現状と役割について学ぶ。	2	
7	"	その他の低所得対策について学ぶ	2	
8	"	ホームレスの自立支援対策、災害救助について学ぶ	2	
9	"	社会手当について知る。	2	
10	相談援助活動	福祉事務所における生活保護の相談援助活動の実際について学ぶ	1-4	
11	"	生活保護における相談援助活動の位置づけ、プロセスについて学ぶ	1-4	(講義及び演習)
12	"	主要な相談援助活動について学ぶ	1-4	(講義及び演習)
13	"	相談援助活動の実際について事例を通して学ぶ	1-4	(講義及び演習)
14	"	相談援助活動の実際について事例を通して学ぶ	1-4	(講義及び演習)

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	「公的扶助論」	福祉士養成講座編集委員会	中央法規	最新版 2500円
参考書	「生活保護手帳」	厚生労働省保護課	全協力	各年度版
	「社会福祉辞典」	社会福祉辞典編集委員会	大月書店	最新版 4800円
その他の資料	必要に応じて配付する。			

【評価方法】 レポート、試験、小テスト、出席状況 授業態度 を総合的に評価する	【履修上の留意点】 目的意識を持った真剣な受講態度で臨むこと ※ カリキュラムの編成上選択科目となっているが、社会福祉士受験資格取得のため 必ず履修すること。
---	--